Ⅱ．施設に入所している方を

対 象 と し た 調 査

　　調査票の回答者

問１　この調査票に回答していただく方はどなたですか。（○はひとつ）

全体では、「ご家族の方」が50.8％と最も多く、次いで「施設の職員」が35.5％、「あて名ご本人」が13.7％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「ご家族の方」がやや多くなっています。

問１　調査票の回答者

　　１　ご本人について

（１）性別

問２　あなたの性別をお聞きします。（○はひとつ）

全体では、「男性」が65.3％、「女性」が34.7％となっています。

　障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問２　性別

（２）年齢

問３　あなたの年齢をお聞きします。令和元年１１月１日現在の満年齢をお書きください。

全体では、「50代」が30.6％と最も多く、次いで「40代」が22.6％、「60代」が16.1％、「70代以上」が12.9％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「60代」「70代以上」がやや多くなっています。

問３　年齢

（３）手帳の種類

問４　あなたが持っている手帳の種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。（○はいくつでも）

①手帳の種類

　「愛の手帳」が75.0％と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が40.3％、「精神障害者保健福祉手帳」が4.0％、「これらの手帳は持っていない」が1.6％となっています。

問４①　手帳の種類

②身体障害者手帳の等級

　「１級」が68.0％と最も多く、次いで「２級」が16.0％、「３級」が10.0％、「５級」が2.0％となっています。

問４②　身体障害者手帳の等級

③身体障害の種類

　「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が64.0％と最も多く、次いで「視覚障害」が14.0％、「音声・言語・そしゃく機能障害」「聴覚・平衡機能障害」がそれぞれ12.0％となっています。

問４③　身体障害の種類

④愛の手帳の程度

　「２度」が50.5％と最も多く、次いで「３度」が25.8％、「４度」が14.0％、「１度」が7.5％となっています。

問４④　愛の手帳の程度

⑤精神障害者保健福祉手帳の等級

　該当者は５人で、「２級」が４人、「１級」が１人となっています。

　　２　施設入所について

（１）施設のある地域

問５　あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きします。
（○はひとつ）

全体では、「関東甲信越（東京都を除く）」が28.2％と最も多く、次いで「東京都（23区内を除く）」が24.2％、「新宿区内」が22.6％、「東北」が9.7％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「関東甲信越（東京都を除く）」「東京都（23区内を除く）」がやや多くなっています。

問５　施設のある地域

（２）入所期間

問６　あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きします。
（○はひとつ）

全体では、「20年以上」が37.1％と最も多く、次いで「３年以上～５年未満」が22.6％、「10年以上～20年未満」が15.3％、「５年以上～10年未満」が11.3％となっています。

障害別に見ると、知的障害では「20年以上」がやや多くなっています。

問６　入所期間

　施設のある地域別に見ると、関東甲信越（東京都を除く）、東北では「20年以上」が特に多くなっています。新宿区内では「３年以上～５年未満」が多くなっています。

●入所期間（施設のある地域別）



（３）施設に入所した理由

問７　あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。
（○はいくつでも）

全体では、「家族による介助が難しくなったため」が61.3％と最も多く、次いで「常時介助が必要なため」が29.0％、「生活が保障され安心感があるため」が22.6％、「家族から自立するため」「リハビリや生活面の訓練を受けるため」がそれぞれ12.9％となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問７　施設に入所した理由

**全体** **身体障害**

**知的障害**

　　３　施設での生活について

（１）出身世帯に帰るときなどに困ること

問８　あなたが一時、出身世帯（施設に入る前に住んでいた家）に帰るときなどに困ることはありますか。（○はいくつでも）

全体では、「出身世帯では十分な介助が受けられない」が37.1％と最も多く、次いで「緊急の場合が不安である」が22.6％、「帰る手段がない、または移動が難しい」が19.4％、「出身世帯の建物が障害に対応していない」が18.5％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「帰る手段がない、または移動が難しい」「出身世帯の建物が障害に対応していない」がやや多くなっています。

問８　出身世帯に帰るときなどに困ること

**全体** **身体障害**

**知的障害**

（２）施設生活の満足度

問９　あなたは、施設での生活に満足していますか。（○はひとつ）

全体では、「やや満足している」が30.6％と最も多く、次いで「非常に満足している」が28.2％、「やや不満である」が10.5％、「非常に不満である」が2.4％となっています。「わからない」は25.8％でした。

障害別に見ると、身体障害では「非常に満足している」がやや多くなっています。

問９　施設生活の満足度

（３）施設生活で困っていること

問10　あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。（○はいくつでも）

全体では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が41.1％と最も多く、次いで「外出の機会が少ない」が25.0％、「健康状態に不安がある」が21.8％、「家族とあまり会えない」が21.0％となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問10　施設生活で困っていること

**全体** **身体障害**

**知的障害**

（４）施設への要望

問11　あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。（○はいくつでも）

全体では、「外出機会の増加」が29.0％と最も多く、次いで「余暇活動の充実」が20.2％、「健康への配慮」「日中活動の充実」がそれぞれ19.4％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「介護・看護の質の向上」が最も多くなっています。

問11　施設への要望

**全体** **身体障害**

**知的障害**

（５）医療的ケアの必要性

問12　医療的ケアについて伺います。あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか（○はひとつ）

全体では、「なし」が75.8％と最も多く、次いで「施設入所前から今に至るまで医療的ケアがある」が9.7％、「施設入所した当時は必要なかったが、今は必要な医療的ケアがある」が8.9％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「施設入所前から今に至るまで医療的ケアがある」がやや多くなっています。

問12　医療的ケアの必要性

（６）外出の頻度

問13　あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。（○はひとつ）

全体では、「月に１～３回」が44.4％と最も多く、次いで「あまり外出しない」が23.4％、「週に１～２回」が20.2％、「週に３～４回」が7.3％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「あまり外出しない」がやや多くなっています。

問13　外出の頻度

（７）主な収入

問14　あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きします。（○は２つまで）

全体では、「年金（障害基礎年金など）」が92.7％と特に多く、次いで「親族の扶養または援助」が11.3％、「工賃など（福祉的就労）」が8.1％、「生活保護費」が2.4％となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問14　主な収入

**全体** **身体障害**

**知的障害**

　　４　相談や福祉の情報について

（１）困ったときに相談する相手

問15　あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。（○はいくつでも）

全体では、「施設の職員」が84.7％と最も多く、次いで「家族や親族」が58.1％、「医療関係者（医師、看護師、ソーシャルワーカー）」が21.8％、「サービス等利用計画を作成した相談支援専門員」が12.1％となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問15　困ったときに相談する相手

**全体** **身体障害**

**知的障害**

（２）福祉情報の入手先

問16　あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。
（○はいくつでも）

全体では、「施設の職員」が46.0％と最も多く、次いで「家族や親族」が31.5％、「相談支援専門員」が16.1％、「官公庁の窓口（区の障害者福祉課等）」が11.3％となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問16　福祉情報の入手先

**全体** **身体障害**

**知的障害**

　　５　権利擁護について

（１）障害者虐待防止法の認知状況

問17　障害者虐待防止法が平成24年10月に施行されたことを知っていますか。
（○はひとつ）

全体では、「知っている」が27.4％、「知らない」が21.0％、「わからない」が48.4％となっています。

　障害別に見ると、身体障害では「知らない」が、知的障害では「わからない」がやや多くなっています。

問17　障害者虐待防止法の認知状況

（２）障害者虐待防止に向けた取り組みの認知状況

問18　あなたは、障害者虐待の防止にむけた取り組みを知っていますか。（○はいくつでも）

全体では、「施設の内に障害者虐待防止責任者・相談員がいる」が21.0％と最も多く、次いで「施設の外に障害者虐待について相談できる人がいる」が8.9％、「障害者虐待の相談や通報先が明らかになっている」が6.5％となっています。「わからない」は61.3％でした。

障害別に見ると、いずれの項目も身体障害の方が回答が多くなっています。

問18　障害者虐待防止に向けた取り組みの認知状況

**全体** **身体障害**

**知的障害**

（３）成年後見制度の利用意向

問19　成年後見制度を利用したいと思いますか。（〇はひとつ）

全体では、「現在、利用している」が14.5％、「今後利用したい」が12.9％、「利用は考えていない」が20.2％、「わからない」が47.6％となっています。

障害別に見ると、身体障害では「利用は考えていない」が、知的障害では「わからない」「現在、利用している」がやや多くなっています。

問19　成年後見制度の利用意向

（４）成年後見制度を利用しない理由

問20　問19で「３　利用は考えていない」または「４　わからない」 と回答した方にお聞きします。その理由はなんですか。（〇はいくつでも）

全体では、「まだ、制度の利用を必要とする状況ではない」が34.5％と最も多く、次いで「特に考えたことがない」が33.3％、「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」が15.5％、「費用の負担が心配」が11.9％となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問20　成年後見制度を利用しない理由

**全体** **身体障害**

**知的障害**

　　６　今後の暮らし方について

（１）今後の生活の希望

問21　あなたは今後、どのような生活を希望しますか。（○はひとつ）

全体では、「現在の施設で生活したい」が61.3％と特に多く、次いで「施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい」が4.0％、「施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい」「施設を退所して、今の施設周辺のグループホームで生活したい」がそれぞれ1.6％となっています。

障害別に見ると、知的障害では施設を退所したいという回答がやや多くなっています。

問21　今後の生活の希望

**全体** **身体障害**

**知的障害**

（２）地域で安心して暮らすために重要な施策

問22　障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。（○は３つまで）

全体では、「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が29.8％と最も多く、次いで「入所施設の整備・充実」が23.4％、「障害理解・障害者差別解消の推進」「障害者福祉の人材確保・人材育成の充実」がそれぞれ21.0％となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

問22　地域で安心して暮らすために重要な施策

**全体** **身体障害**

**知的障害**

　男女別に見ると、「親や親族が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」「障害理解・障害者差別解消の推進」は女性の方が多く、「入所施設の整備・充実」「障害者福祉の人材確保・人材育成の充実」は男性の方が多くなっています。

●地域で安心して暮らすために重要な施策（男女別）





　　７　自由意見

問23　障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

「施設生活」が11件と最も多く、次いで「区への意見・要望」「親の高齢化・親亡き後」「人材確保」がそれぞれ６件となっています。

問23　自由意見

|  |  |
| --- | --- |
| **回答の内容** | **件数** |
| １ | 施設生活 | 11 |
| ２ | 区への意見・要望 | 6 |
| 親の高齢化・親亡き後 | 6 |
| 人材確保 | 6 |
| ５ | 福祉サービス | 5 |
| ― | その他 | 9 |
| 総数 | 25 |

※　複数の分野にまたがる意見があるため、各項目の件数の合計は意見総数を超えます。

**●主な意見**

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **意見の概要** | **障害の種類** | **性別・年齢****回答者** |
| 入所施設も、親子の高齢化は顕著です。親が高齢になり、年末年始やお盆の帰省、普段の面会や外出もままならず、子どもや施設に対して申し訳ないと心を痛めている親御さんが多くいらっしゃいます。入所者の外出支援・帰宅支援の方策をご検討ください。 | 知的障害 | 女性・20代ご家族 |
| 人が大事なのに、人手不足であることが問題。待遇改善と福祉の仕事はやりがいがあって楽しいことをアピールすること。 | 知的障害 | 女性・50代ご家族 |
| 障害者施策については良くなってきていますが、親の病気や高齢のため、入所している子供に気を配れなくなっています。年金など経済的な心配もあります。 | 知的障害 | 女性・30代ご家族 |
| 障害者施策を推進するカギは、当事者・家族の様々な声を行政・議会が、何をどれだけくみ上げるかにかかっていると思います。その際、施策実現の可否は最終的には区長の判断と決断にあると思います。区長には、もっと当事者・家族の声に耳を傾け、施策の推進を主導するリーダーシップを発揮してくださることを期待します。 | 肢体不自由聴覚・平衡機能障害知的障害 | 女性・30代ご家族 |
| 重度の知的障害者の場合、いわゆる「親亡き後」、地域で一人で安心して暮らしていくのは難しい。生まれた時から区内の同じところに住んでいるが、一人残されたら一日たりとも生きていけない。ご近所にもそこまで頼れない。国、都、自治体の方針とは違うが、区内の入所施設の整備・充実を強く望む。 | 知的障害 | 60代・女性ご家族 |
| 施設のスタッフに生活の介助をしてもらえているので、家族は自身の生活と向き合うことができています。感謝の気持ちでいっぱいです。スタッフの方々の様子も気になる時があり、難しいことではあると思いますが、もっと多くの人の手で障害者を支えていけるとよいなと思います。多くの知識や技術を持っていなくても、相手を思いやる気持ちを大切にし、笑顔で接してくださる人が増えるとうれしいです。 | 肢体不自由 | 女性・60代ご家族 |
| 今現在は入所施設に不満はありませんが、年々年を取り、手がかかるような入所者が多くなると、当然職員の確保と人材育成の充実は不可欠になると思います。 | 知的障害 | 男性・50代ご家族 |
| 成年後見人制度についてあまり情報がありません。後見人を立てる場合の人選にはどんな方法があるのでしょうか。後見人が本人の財産を使われてしまったという話など、ダークなイメージが先行し、とても難しい問題だと思いますが、こういう方法が安全、安心というものはあるのでしょうか。お金がからむ問題ですので、何とか良い方法があれば知りたいです。 | 肢体不自由音声・言語・そしゃく機能障害知的障害 | 女性・40代ご家族 |
| 自由な時間をもっと多くしてほしいので、サービスを増やしてほしいです。 | 知的障害 | 男性・30代ご本人 |